平成 23 年度 事業実施報告書

Ⅰ　国際交流の活発化　　4,127,331 円

１．外国人の受入れ拡大事業　3,570,465 円

本県とのつながりが深く、県が重点的に交流を進めている北東アジア地域について、当該地域との交流実績のある関係団体と連携しながら、民間レベルでのより一層の相互交流の拡大を図った。

（１）北東アジア友好交流促進事業

①黒龍江省との友好交流促進事業

○新潟県・黒龍江省大学生交流事業

国際的に活躍する人材の育成と人的交流の推進のために、国際交流インストラクターなど国際理解に関心の高い県内大学生を対象に、黒龍江省の大学生との交流や、中国の歴史・文化等を学ぶ青少年交流を実施した。

・期　　間：９月２日（金）～９月５日（月）

・内　　容：東北林業大学での授業参加、ホームビジット、太陽島、聖ソフィア大聖堂、防洪記念塔、中央大街、阿城金上京博物館等見学

・参加人数：10 名（大学生８名）

○黒龍江大学への日本語教師派遣支援事業（県委託事業）

②モンゴルとの技術交流事業

県や関係団体とともに実行委員会を設け、モンゴルとの技術交流事業を実施した。

○モンゴル東ゴビ沙漠緑化推進事業

・目的：東ゴビ砂漠に位置するドルノゴビ県の中心であるサインシャンド周辺において、新潟県の有する技術をもって砂漠地緑化に寄与する。

・実行委員会構成団体：NPO 法人新潟県対外科学技術交流協会、新潟県（国際課・林政課・森林研究所）、（公財）環日本海経済研究所、（財）新潟県国際交流協会

・新潟県側の専門家派遣

（６月 25 日（土）～７月４日（月））

・ドルノゴビ県からの研修生招聘

（11 月４日（金）～11 月８（火））

○モンゴル国中小企業技術協力可能性調査

・目的：モンゴル国における機械・金属産業等の実態を調査し、新潟県の企業等による技術協力の可能性を検討する。

・実行委員会構成団体：NPO 法人新潟県対外科学技術交流協会、新潟県（国際課）、(公財)環日本海経済研究所、(財)新潟県国際交流協会
・新潟県側の専門家派遣（７月４日（月）～７月 11 日（月））

（２）留学生就職支援セミナー

留学生の県内企業への就職を促進するため、日本での就職活動に必要な情報の提供や、留学生と企業との意見交換を実施した。

・期日及び会場：10 月 8 日（土）
新潟市（朱鷺メッセ中会議室 201）
・主　催：(財) 新潟県国際交流協会、
新潟地域留学生等交流推進会議、
にいがたインターンシップ推進協議会
・共　催：新潟県、日本貿易振興機構新潟貿易情報センター、(特活) 産学連携教育日本フォーラム
・協　力：(公財) 環日本海経済研究所、(社) 新潟県商工会議所連合会、
(社) 新潟県経営者協会、新潟経済同友会
・参加者：企業関係者（13 名）、大学等（７名）、留学生（31 名）等 71 名
・内　容：
第１部「留学生向けセミナー」　講 師（株）ディスコ　田口　香織 氏
①日本企業における留学生の採用状況
②企業が求める人材とは
第２部：「留学生と企業との意見交換」
・コーディネーター
伊藤　勝　氏　（にいがたインターンシップ推進協議会専務理事）
・ファシリテーター
阿波村　稔 氏　（新潟大学 国際センター長・教授）
西條　秀俊 氏　（新潟大学 教育・学生支援機構キャリアセンター准教授）
詹　秀娟　氏　（新潟産業大学 経済学部 教授）
田口　香織　氏（(株) ディスコ）
牧口　哲也　氏（(株) 第四銀行 国際部 海外ビジネス支援室長）
穆　尭芊　氏　（(公財) 環日本海経済研究所 経済交流部 兼 調査研究部研究員）

２．アジアを知る事業　472,052 円

（１）国際理解講座

県が重点的に交流を進めている北東アジア地域への関心を高め、海外渡航の増加につなげるため、大学などの協力を得ながら、一般県民向けの講座を県内６地区、全 13 回開催した。

ア　新潟市（新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」）

①「ロシアの現状及び日本との関係」

新潟県ロシア交流推進担当参与・元在新潟ロシア連邦総領事

ワシーリー・クラコーフ　氏

日時：9 月 25 日（日）14：00～15：30　参加者数：23 名

②「最新のモンゴル経済・政治事情」

新潟大学 法学部研究生

（モンゴル国家戦略研究所研究員）

チンバト・オユンジャラガル　氏

日時：10 月 16 日（日）14：00～15：30

参加者数：21 名

③「日越交流のいま・むかし」

新潟大学 准教授　蓮田隆志　氏

日時：12 月 11 日（日）14：00～15：30

参加者数：24 名

イ　三条市（燕三条地場産業振興センターリサーチコア）

①「中国経済を見るもう一つの視点－地域発展計画の役割と限界－」

（公財）環日本海経済研究所 研究員　穆　尭芊　氏

日時：10 月 27 日（木）19：00～20：30　参加者数：12 名

②「ロシアとビジネス」

事業創造大学院大学 教授　富山　栄子　氏

日時：11 月 11 日（金）19：00～20：30　参加者数：11 名

ウ　柏崎市（柏崎市市民プラザ）

①「南の隣人・台湾の現状と深まる日台の交流」

新潟産業大学 教授　詹 秀娟　氏

日時：9 月 24 日（土）14:00～15:30　参加者数：25 名

②「中国・内モンゴル自治区の現状と娯楽」

新潟産業大学 助教　ウリジバヤル　氏

日時：10 月 15 日（土）14：00～15：30　参加者数：20 名

エ　新発田市（新発田市生涯学習センター）

①「中国と日本の経済関係」

敬和学園大学 教授　房　文慧　氏

日時：9 月 22 日（木）19：00～20：30　参加者数：81 名

②「中国朝鮮族社会の形成と変容」

新潟県立大学 准教授　権　寧俊　氏

日時：9 月 29 日（木）19：00～20：30　参加者数：74 名

③「グローバル化の中の中国イスラーム」

敬和学園大学 教授　松本　ますみ　氏

日時：10 月 6 日（木）19：00～20：30　参加者数：68 名

オ　上越市（上越市市民プラザ）

①「韓国の教育事情に迫る！－PISA 型学力と０歳から大学生までの子育て事情を中心に－」

上越教育大学 大学院教授　釜田　聡　氏

日時：10 月 29 日（土）14:00～15:30　参加者数：31 名

②「中国の新人類『80 後』を語る！―上海を中心とした中国の家庭教育―」

兵庫教育大学院連合 教育学博士　王　鑫　氏

日時：11 月 27 日（日）14:00～15:30　参加者数：31 名

カ　佐渡市（佐渡島開発総合センター）

①「国際観光の推進―急増する訪日中国人観光客の現状と誘客対策―」

（公財）環日本海経済研究所 特別研究員　鈴木　伸作　氏

日時：12 月 15 日（木）13:00～14:30　参加者数：23 名

（２）高等学校等海外修学・研修旅行説明会

県内の公立・私立高校や専門学校の校長等を対象に、県が重点的に交流を進めている北東アジア地域を中心とした修学旅行説明会を開催した。

・期日及び会場：２月 17 日（金）　新潟県自治会館本館

・参加者：高等学校等（48 校）、大韓航空、中国東方航空、ユナイテッド航空等、計 90 名

３．受け皿整備事業　84,814 円

（１）ホストファミリー整備事業

海外からの来県者のホームステイ先の確保・充実を図るため、ホストファミリー実践講座及びホームステイ体験を実施した。

①ホストファミリー実践講座

ア　新潟会場

・期日及び会場：８月 28 日（日）
新潟県国際交流協会研修室

・参加者：日本人 16 名、
外国人９名（ALT、留学生、CIR）

イ　長岡会場

・期日及び会場：９月３日（土）長岡市国際交流センター

・参加者：日本人 15 名、外国人３名（CIR）

②ホームステイ実施

ＡＬＴ（外国語指導助手）、留学生 10 人を対象にホームステイを実施

・期　日：11 月 12 日（土）、13 日（日）

・参加者：10 家庭

Ⅱ　国際協力活動の支援　　4,937,795 円

４．新潟・国際協力ふれあい基金　4,937,795 円

（１）支援助成（参考資料１頁参照）

「新潟・国際協力ふれあい基金」の運用益をもとに、海外において県内ＮＧＯ又は個人が行う人道援助活動や人材育成活動等に対し助成金を交付した。

・助成実績：5 件

4,180,000 円

（２）基金運営

①審査委員会の運営

ふれあい基金事業の審査等を行う審査委員会を開催した。（参加委員：6 名）

・期日：12 月 20 日（火）

・会場：新潟県国際交流協会研修室

②募金活動（参考資料２頁参照）

広く県民からふれあい基金への寄附を募るとともにふれあい基金事業の周知を図るため、市町村役場、県内各地の日帰り温泉施設、及び宿泊施設等に常設している募金箱により、募金活動を実施した。

③募金実績　（単位：円）

	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度
募金額	341,117	176,579	244,167	234,625	159,956
累　計	14,226,866	14,403,445	14,647,612	14,882,237	15,042,193

Ⅲ　多文化共生の支援　　37,418,939 円

5．国際理解推進事業　3,116,444 円

（１）プレゼンテーションコンテスト

学校での教科、「総合的な学習の時間」及びクラブ活動、又は地域での活動などにおける国際理解をテーマとした学習の成果に関するプレゼンテーションコンテストを行った。

ア　プレゼンテーションコンテスト

・参加団体：「中学生部門」10 チーム
　　「高校生部門」９チーム
・期日：12 月 17 日(土)
・会場：朱鷺メッセ
・最優秀賞：
〈中学生部門〉新潟市立早通中学校「日本人としての誇り」
〈高校生部門〉国立長岡工業高等専門学校　NGK48「learn ourselves」

イ　スタディツアーの実施

各部門最優秀賞チームを韓国スタディツアーに派遣した。

・派遣期間：３月 24 日（土）～３月 27 日（火）
・派 遣 先：韓国・ソウル市
・参 加 者：新潟市立早通中学校　生徒７名　指導者１名
　　国立長岡工業高等専門学校　生徒３名　指導者２名
・活動内容：ソウル市内見学、ホームビジット、水落中学校授業参加と交流会、新潟県ソウル事務所訪問など

（２）協会広報誌

・発行時期：７月（第 10 号）、１月（第 11 号）
・配 付 先：県内の高校等 134 校、大学等 25 校、図書館、市町村・団体等
　　計 15,000 部

（３）国際理解教育推進協議会

小・中・高・大学生及び教員を対象とする全県的な事業を推進するため、行政や関係機関等から成る推進協議会を開催した。

・期日及び会場：２月 29 日（水）　万代島ビル６階会議室
・参加者：16 名
・議　題：新潟県国際理解教育推進協議会設置要綱の改定について、
　　平成 22 年度主催事業実績報告、平成 23 年度主催事業中間報告、
　　平成 24 年度主催事業案

６．在住外国人支援事業　1,791,700 円

地域住民の一人として在住外国人が安心して暮らすことができるよう、相談事業及び関連事業を実施した。

（１）相談事業　（多言語生活相談 WELCOME へ委託）

○相談実績（参考資料４頁参照）

・対応言語：５カ国語（英語、中国語、ﾀｶﾞﾛｸﾞ語、ﾀｲ語、ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ語）

・相談件数：延べ 703 件（窓口相談 47 件、電話相談 656 件）

・相談内容：在留手続き、労働、結婚・離婚、福祉・DV など

（２）相談・通訳員育成（民間団体へ委託）

人材が不足している少数言語の相談・通訳員を新たに育成する研修等を平成 20～22 年度に引き続き、実績のある民間団体に委託して実施した。

・委託先：(社)上越国際交流協会、多言語生活相談 WELCOME

（３）相談関係機関との連携

ア　１日入管インフォメーションセンター

・日　時：６月 23 日（木）10：00～15：00

・会　場：新潟県国際交流協会研修室

・内　容：毎年行う東京入国管理局の１日入管インフォメーションセンターの開設に合わせ、外国人対応ができるよう、多言語生活相談員を通訳として配置。

・相談件数：8 件

イ　行政書士による外国人無料相談会等

新潟県行政書士会と連携し、行政書士による専門的な相談を、多言語通訳を交え、無料で提供した。

(ｱ)　県行政書士会新潟県支部

・日　時：10 月 20 日（水）10：00～16：00

・会　場：新潟県国際交流協会研修室

・相談件数：4 件

(ｲ)　県行政書士会

・日　時：3 月 3 日（土）13：00～16：00

・会　場：新潟市東区役所講座室１

・相談件数：16 件

ウ　生活相談関係機関連絡会議

・日　時：3 月 8 日（木）13：30～15：30

・会　場：朱鷺メッセ小会議室 203

・参加者：県弁護士会、県行政書士会、東京出入国管理局新潟出張所、法テラス新潟、市町村国際交流協会等　16 名

・内　容：各機関が行う、外国人に関する業務等について、状況を確認するとともに、多言語生活相談の実施等、連携事業を検討した。

７．留学生支援事業　32,510,795 円

県内の大学等で学ぶ外国人留学生に対する次の支援を行った。

（１）国際理解講座講師

新潟県国際交流プラザで行う国際理解講座の講師として、自国の文化、歴史、自然等を小・中・高校生に紹介した。

・講座実施数　６回

（小：５回、中：１回、高：０回）

（２）県内大学院グローバル化促進事業

将来の日本と本国とのビジネス交流の架け橋となる人材を育成し、新潟を拠点とした国際的な人的ネットワーク形成と「選ばれる新潟」を推進するため、アジア地域からの私費留学生に対する奨学金給付と大学院が行う留学生募集活動に対する助成を行った。

①外国人私費留学生奨学金事業

県内大学院に入学するアジア地域からの留学生に対し、入学金と授業料のそれぞれ１／２以内の奨学金を交付した。

〇助成実績：

・平成 23 年度認定分（入学金・授業料）
国際大学 12 名、新潟大学 3 名、事業創造大学院大学 3 名、
長岡技術科学大学 2 名　計 20 名　15,712,500 円

・平成 22 年度認定分（授業料）
国際大学 13 名、新潟大学 3 名、事業創造大学院大学 1 名
計 17 名　12,478,700 円

②海外留学生募集活動支援事業

県内大学院がアジア地域で行う留学生募集活動に対し、対象経費の１／２以内を助成した。

〇助成実績：新潟大学、国際大学、事業創造大学院大学　2,655,000 円

Ⅳの１　基盤強化（民間活動活発化）　4,640,073 円

８．民間団体助成事業　3,361,776 円

（１）国際化推進活動助成金の交付（参考資料６頁参照）

民間団体等が実施する国際交流活動を支援し、地域の国際交流活動の促進を図るため助成金を交付した。

・助成実績：民間団体等 25 団体（申請団体 28 団体、うち助成決定後中止等３団体）　3,357,420 円

・事業例：留学生支援、国際映画祭、在住外国人・海外との交流事業等

（２）研修室等の貸出

民間団体の活動促進のため国際交流プラザや研修室の貸出しを行った。

・利用時間：平日の原則として 13 時～21 時、土日･祝日の９時～21 時

・利用件数：46 件（23 年４月～24 年３月）

９．民間団体ネットワーク構築事業　426,037 円

（１）多文化共生セミナー

日本語教室、日本語が母語でない子どもの学習支援、外国人関連相談事業など多文化共生に係るこれまでの取り組みをふり返るとともに、多文化共生地域づくりに必要な今後の活動等を検討するために、これらに関係する団体・ボランティア等が一堂に会するセミナーを開催した。

○日時：平成 23 年 12 月４日（日）
　　10:30～16:00

○場所：朱鷺メッセ中会議室

○講師：（全体研修）
　・新潟大学 国際センター長・教授
　　阿波村　稔　氏
　（専門研修・分科会）
　・日本語教室：新潟大学 国際センター 准教授　足立　祐子　氏
　・日本語が母語でない子どもの学習支援：読み書き・母語教育支援団体「りてらこや新潟」代表　佐々木　香織　氏
　・外国人関連相談事業：社団法人 上越国際交流協会 専務理事
　　川室　京子　氏

○参加者：県・市町村、県・市町村教育委員会、国際交流協会、外国人支援等関連ＮＰＯ、行政書士会、弁護士会等　51 名

（２）外国籍児童生徒就学支援

日本語を母語としない子どもと保護者等を対象に、高校への進学など、日本の学校制度について説明する資料を更新し、ホームページ等で公開した。

10．在外県人会活動支援　852,260 円

ブラジル、ホノルル、アルゼンチンの各新潟県人会に対して、現地での活動を支援するため助成金を交付した。

団　体　名	助成額（円）
ブラジル県人会	460,000
ホノルル県人会	165,000
アルゼンチン県人会	92,000
新潟県海外移住協会	100,000
合　　計	817,000

Ⅳの２　基盤強化（人材育成）　1,327,493 円

11. 人材育成　1,327,493 円

民間団体等の人材の育成と次世代を担う若者の国際理解を深めていくための支援を行った。

（１）NGO スタッフ育成講座

国際交流・協力等を目的に設立された既存の NGO や、これから NGO 活動を始めたい人を対象に研修会を実施した。

・期日及び会場：３月 18 日（日）
　　クロスパルにいがた
・内　容：組織の強化・活性化に必要な広報
　　戦略についての講義、及びプレスリリース作成のワークショップ。
・講　師：（株）ジャングル・コア　小島信雄氏　吉川真理子氏
　　JICA 地球ひろば市民参加協力アドバイザー　山崎唯司氏
・参加者：県・市町村、NGO 団体等 19 名

（２）ボランティアバンクの運営

ボランティアレベル・活動歴等の把握を通して、適材適所にボランティアを活用するなど、協会の調整機能を向上させるとともに、研修事業の充実など、ボランティアバンクの更なる活性化を図った。

①通訳・翻訳ボランティア、アースサポーターの活用

・通訳・翻訳ボランティア登録者数　164 名
（英語：101 名、中国語：20 名、韓国・朝鮮語：20 名、ロシア語：８名、
　タイ語、スペイン語：各３名、その他：９名）
・アースサポーター登録者数　　73 名
・イベント等への延べ紹介数　　58 名
※登録者数は H24.3.31 のもの

②語学講座

新潟県国際交流協会研修室等を利用して、通訳・翻訳ボランティア、一般県民を対象とする、中国語、韓国語、英語の講座を実施した。

中国語：７月 23 日（土）参加者　５名
韓国語：７月 23 日（土）参加者 12 名
英　語：３月　３日（土）参加者 34 名

（３）国際交流インストラクター養成事業

（新潟国際情報大学・敬和学園大学・新潟県立大学連携事業）

大学生(79 名、情報大：32、敬和大：13、新潟県立大：34）をインストラクターに養成し、小・中・高校生などを対象に国際社会への関心と学習意欲を高めるためのワークショップを実施した。

・派遣実績：県内小・中・高等学校 26 校
（小：17、中：4、高：5）・1 施設
・テーマ：「世界の現実」「世界の不平等」
「異文化理解」

（４）国際理解教育推進重点校設置事業

県内中学校・高校における国際理解教育の推進・意識啓発のため、国際理解教育に熱心に取り組んでいる中学校・高校の中から７校を選定し、年間を通して、各種国際理解教育メニューを実施・評価していただいた。

実施校：中学３（小千谷、上越教育大附属、羽茂）、中等教育学校１（村上）
高校３（新潟商業、国際情報、長岡工専）

（５）医療支援事業

平成 21 年度に作成した「多言語版医療窓口対応シート」（英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、タガログ語、インドネシア語、やさしい日本語）を使い、医療従事者向けの外国人患者対応研修会を新潟市と南魚沼市で開催した。

また、新潟県内に暮らす外国籍住民を対象とし、生活習慣病を防ぐ食事作りについて学ぶ講座を長岡市で実施した。

「医療従事者向け外国人患者対応研修会」
期日及び会場：
①新潟市
12 月 10 日（土）
クロスパルにいがた多目的ルーム 1
②南魚沼市
12 月 11 日（日）
国際大学 102・103 講義室
講　師：（特活）多文化共生センターきょうと
医療通訳コーディネーター、看護師、保健師　高嶋 愛里 氏
参加者：新潟会場 22 名、南魚沼会場 19 名

「外国籍住民のための健康づくり講座」
期日及び会場：７月３日（日）長岡市健康センター
講　師：長岡市食生活改善推進協議会　喜多 まゆみ 氏 他６名
参加者：20 名

（６）災害多言語支援ボランティア育成事業

外国語ができる日本人または日本語ができる外国人の中から、災害時に多言語支援ボランティアとして被災地の外国籍住民等を支援できる人材を育成するための研修を新潟市と新発田市で実施した。

①新潟市（基礎編）

期日及び会場：11 月 19 日（土）クロスパルにいがた 405 講座室

内　容：災害多言語支援ボランティアに求められる心得、通訳翻訳基礎、他

講　師：（公財）柏崎地域国際化協会事務局長　清水　由美子 氏

参加者：19 名

②新発田市（実践編）

期日及び会場：11 月 26 日（土）新発田市中央公民館、地域交流センター

内　容：午 前 避難所に関する話、グループワーク

午 後 災害時外国人支援模擬訓練（合同シミュレーション）

講　師：（公財）柏崎地域国際化協会事務局長　清水由美子 氏

※災害時外国人支援模擬訓練(合同シミュレーション)

（財）長岡市国際交流センター長　羽賀友信 氏

（特活）多文化共生マネージャー全国協議会副代表　高木和彦 氏

参加者：19 名

Ⅳの３　基盤強化（広報情報提供）　1,853,869 円

12. 広報ライブラリー運営事業　609,572 円

県内団体や一般県民等に、国際交流・国際協力に関する情報や当協会の事業等について情報を提供した。

（１）ＰＲ記事掲載

朱鷺メッセのフリーペーパー「トッときガイド」掲載（年１回）

（２）年次報告書発行

平成 22 年度の事業についてまとめた年次報告書を作成し、関係機関等に配布した。

（３）プラザ・ライブラリー運営

各種情報資料（図書、ビデオ、テープ、雑誌、新聞、各種団体刊行物）を整備し、県民の利用に供した。

①蔵書等の状況（平成 24 年３月末現在）

・図書　3,455 冊

・各種団体発行物

（財）自治体国際化協会、他都道府県・政令指定都市国際交流協会が作成した調査、会議、フォーラム等の報告書等

・ビデオ　533 本、DVD　53 本、CD　134 本、CD-ROM　８本

開発途上地域でのＮＧＯ活動を伝える映像資料等

・雑誌　31 誌

・新聞　日本語　２紙（新潟日報、日経）

外国語　４紙（ｲｽﾞﾍﾞｽﾁｬｰ、ｼﾞｬﾊﾟﾝﾀｲﾑｽﾞ、人民日報、東亜日報）

・その他の資料　県内外のＮＧＯ、全国の国際交流協会機関誌

語学学習用テープ・教材（外国語、日本語）等

②年間貸出実績（貸出しは賛助会員のみ）

・図書 32 冊、CD１枚、ビデオ３本

13. ＩＴ活用促進事業　1,009,650 円

平成 19 年度に改訂したホームページの機能を生かし、情報提供の充実を図った。

また、協会ニュース、関連団体の県内外イベント情報などを定期的にメールマガジンとして配信した。（350 件）

14. 賛助会員募集　84,447 円

（１）**賛助会員数の推移**

（単位：会員数）

	19 年度末	20 年度末	21 年度末	22 年度末	23 年度末
個人	48	31	28	26	35
団体	74	71	69	69	60
計	122	102	97	95	95

（２）**賛助会員へのサービス**

賛助会員向けに主に次のサービスを実施した。

個人会員のみ	・旅行会社利用割引 ・レストラン等利用割引 ・朱鷺メッセ関係施設等利用割引 （県立万代島美術館割引券利用件数　24 件） （県立近代美術館割引券利用件数　　１件）
団体会員のみ	・研修室の貸出（46 件） ・国際化推進活動助成金の交付 （25 団体、総額 3,357,420 円） ・印刷機・紙折機の利用
個人・団体共通	・イベント案内等の送付 ・国際情報ライブラリーの図書（32 冊）、CD（１枚）、ビデオ（３本） ふれあい地球人ボックス（20 件）、国旗（66 件）の貸出 ・インターネット用パソコンの利用 ・協会イベント情報等のメール提供

15. 国旗等貸出　59,605 円

国際交流活動を行う賛助会員や諸団体に対して、世界各国の国旗や地球人ボックス（民族衣装、グッズなど）の貸出しを行った。

貸出実績：国旗 33 団体・66 件、地球人ボックス 14 団体・20 件

16．国際交流連絡会議開催　90,595 円

県内３地域において、市町村・民間団体等と情報・意見交換を行う会議を開催した。

○上越会場

・期日及び会場：６月 17 日（金）　上越市市民プラザ

・参加団体・人数：８団体、16 名

○長岡会場

・期日及び会場：６月 21 日（火）　ながおか市民センター

・参加団体・人数：19 団体、27 名

○新潟会場

・期日及び会場：６月 24 日（金）　朱鷺メッセ中会議室

・参加団体・人数：34 団体、47 名